

合同シンポジウム  
CREST

主催

JST CREST「持続可能な水利用を実現する革新的な技術とシステム」領域  
「地域水資源利用システムを構築するためのIntegrated Intelligent Satellite System (IISS)の適用」および「多様な水源に対応できるロバストRO/NF膜の開発」

協賛(予定)

化学工学会, 日本膜学会, 水環境学会,  
日本化学会, 高分子学会,  
膜分離技術振興協会, 造水促進センター

招待講演

1. Prof. Chung-Hak LEE (Seoul National University)  
Innovative approaches to the fouling control of membrane processes for water reuse
2. Prof. Xia HUANG (Tsinghua University)  
Soluble microbial products (SMPs) in membrane bioreactors: Characterization and fouling behaviors
3. 木村 克輝 准教授 (北海道大学)  
グライコプロテイング法を用いた膜ファウリング多糖の構造解析
4. 大熊 那夫紀 氏 (一般財団法人造水促進センター)  
水再利用と国際標準化の動向

「地域水資源利用システムを構築するためのIntegrated Intelligent Satellite System (IISS)の適用」, および「多様な水源に対応できるロバストRO/NF膜の開発」成果発表

水処理における膜ファウリングに関するシンポジウム



平成26年

1/24(金)

10:00-17:30

(意見交換会17:45-19:30)

東京大学  
弥生講堂 一条ホール

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

交通アクセス

(地下鉄)

- ・東京メロ 東大前駅(南北線) 徒歩1分
- ・東京メロ 根津駅(千代田線) 徒歩8分

(都バス)

- ・御茶ノ水駅(JR中央線, 総武線)より  
茶51駒込駅南口, または東43荒川土手操車所前行  
東大(農学部前バス停)下車徒歩1分

お申込み

(1)お名前, (2)勤務先/学校名, (3)連絡先(所在地, 電話番号, メールアドレス), (4)意見交換会出席の有無(注)を明記いただき, メールにてお申込み下さい。定員(150名)になり次第, 締め切らせて頂きます。

申込先: 林 ([symposium@cc.kogakuin.ac.jp](mailto:symposium@cc.kogakuin.ac.jp)), 申込締切: 平成26年1月17日(金)

(注)シンポジウムは入場無料ですが, 意見交換会に出席される方は参加費4,000円を当日, 現金でお支払ください。なお領収書の発行は致しかねます。

# CREST合同シンポジウム

## 水処理における膜ファウリングに関するシンポジウム

**会期** 平成26年1月24日(金)10:00－17:30 (意見交換会 17:45-19:30)

**会場** 東京大学弥生講堂一条ホール (〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1)

### プログラム

時間	講演者	題目
10:00～10:05	中尾真一 工学院大学教授	開会挨拶
10:05～10:55	Chung-Hak LEE* Prof., Seoul National University	[Invited] Innovative approaches to the fouling control of membrane processes for water reuse
10:55～11:45	Xia HUANG* Prof., Tsinghua University	[Invited] Soluble microbial products (SMPs) in membrane bioreactors: Characterization and fouling behaviors
11:45～13:00	昼食休憩	
13:00～13:50	木村克輝 北海道大学准教授	[Invited] グライコブロットティング法を用いた膜ファウリング多糖の構造解析
13:50～14:40	大熊那夫紀 造水促進センター	[Invited] 水再利用と国際標準化の動向
14:40～14:55	休憩	
14:55～15:15	中尾真一 工学院大学教授	「地域水資源利用システムを構築するためのIntegrated Intelligent Satellite System (IISS)の適用」趣旨と研究目標
15:15～15:35	都留稔了 広島大学教授	「多様な水源に対応できるロバストRO/NF膜の開発」趣旨と研究目標
15:35～15:50	休憩	
15:50～16:15	赤松憲樹 工学院大学准教授	膜面の水和構造に着目したファウリング防止膜の開発
16:15～16:40	高羽洋充 工学院大学准教授	計算化学手法によるファウリング防止膜の素材ポリマー探索と表面水構造解析
16:40～17:05	西嶋渉 広島大学教授	多様な水源に対するRO膜の耐塩素性及びバイオフィウリング性の評価
17:05～17:30	新谷卓司 日東電工株式会社	Robust膜及びモジュールの製造と実証

\*Prof. Lee, Prof. Huangの講演は英語で行われます。

意見交換会: 17:45～19:30アブルボア(東京大学弥生キャンパス内)

参加費4,000円を当日、現金でお支払ください。なお領収書の発行は致しかねます。